

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労・コミュニティセンターAbbey	事業所番号	2316200506
住所	名古屋市昭和区川原通8-37-2	管理者名	清水崇志
電話番号	052-753-6091	対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

<b>&lt;活動内容&gt;</b>		<b>&lt;活動の様子&gt;</b>	
<b>農福連携活動</b> ・活動場所 : 令和5年度も昨年に引き続き、中部電力ワイルドフラワーガーデン「ブルーボネット」、名古屋市動物園及び動物園等での花壇手入れ、八事エリアにてフラワーデザインの先生の指導の下、新商品開発を兼ねたフラワーグッズ開発。 ・実施日程 : ブルーボネットは週に2回〜3回程度。動物園は3ヶ月に1回程度。 ・実施した生産活動・施設外就労の概要 : 農家の方やサポーターの方とともに花を植える農作業、雑草抜き等の作業。 ・中部電力及び「NPO法人花と緑と健康のまちづくりフォーラム」さんが運営しているワイルドフラワーガーデン内の運営の後方支援業務。(館内の清掃、落ち葉拾い、イベントのお手伝い等) ・利用者数 : 1回に3名程度のメンバーとスタッフ同行の下に実行。		・活動の様子の写真及び成果物の写真 ①ワイルドフラワーガーデンにて、後方支援業務。(清掃等)  ②東山動物園での花植え(愛知県内の農場さんとのコラボレーション)  ③フラワーデザインの講師の先生の下、地域の方たちと一緒に作品作り。一部商品化を目指す。  ④地域の保護猫活動にも参加。一部、応援グッズ作成も実施。 	
<b>&lt;目的&gt;</b>			
・地域連携活動のねらい : 障害の有無は関係なしに共に生きるという概念から、地域で生活している方たち、企業の方たちとともに、一緒に一つの事柄を成し遂げる作業を行うことにより、顔が見える関係でお互いのことをよりよく理解しあうきっかけ作りと啓蒙活動。 ・地域にとってのメリット : 花の活動で防犯も兼ね、地域の高齢化などの課題解決、地域のブランディング、商品開発、障害への理解。 ・対象者にとってのメリット : 地域の中で、生のコミュニケーションを通して社会参加をリアルに感じることができる。 又、普段会うことがない方や少ない方たちと一緒に作業をすることの経験値を積むことができる。可能性も広がる。			
<b>&lt;成果&gt;</b>			
・実施した結果 : 活動に関しては継続していく部分と今後は、地域・花・飲食を通しての地域連携も令和6年度から新たにできないかなと考え中です。 ・得られた成果 : 障害について、あまり知らなかった方たちに対する啓蒙的な側面もあった。障がいがあったとしても、やれることがたくさんあり、自信につながっていると思う。自分たちが携ったことで、お世話になることが多かった方が逆に相手の人に「ありがとう」と言われ、お役にたてたという喜びは大きいと思う。また、障がいをもって「できる」ことがあるなという気づき。また活動のきっかけで地域の方と保護猫活動や地域の銀行の方たちにも障害について知ってもらえる機会をもらえた。 ・課題点 : 改めて、継続して実施していくためには、双方での情報交換をし、目的意識を統一することが重要である。付加価値を上げていくのも重要。			

## 連携先の企業等の意見または評価

・連携した結果に対する意見または評価 ・不得手なことがあるというのは、障害の有無は関係なく誰しもあります。その中でも、何かこれならできるかもというものを見つけるきっかけになればと思います。またそれが自信につながるといいますし、そこをどれだけフォローできるかまわりのステークホルダーの方たちの関係性も重要なことだと思います。又継続する力も大事ですね。 みなさんとの活動は我々も励みになります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。 ・後方支援業務などをメインに共同で取り組んでいます。独自商品の開発及びブランディングをこれからはもっとやらないかなと感じています。また、小さいことでも社会にアピールできることもできたらいいなと思います。			
連携先企業名	NPO法人花と緑と健康のまちづくりフォーラム	担当者名	田村 亨